

報道関係各位

2026.2.6

アストンマーティン ジャパン



OFFICIAL WATCH PARTNER

アストンマーティンとブライトリングが共に新たな伝統を築く

- ブライトリングを公式ウォッチパートナーとして発表
- 複数年でのグローバルなパートナーシップは、アストンマーティンの職人技によるハイパフォーマンス・カーと、腕計に要求される精密さとクラフトマンシップを融合
- 2026年内に、本コラボレーションによるアストンマーティンエディションのタイムピース第一弾を発表予定
- ブライトリングがアストンマーティン・アラムコ・フォーミュラ1™チームの公式ウォッチパートナーになったことを同時発表



2026年2月5日、ゲイドン（英国）：

ウルトラ・ラグジュアリーな英国の自動車メーカーであるアストンマーティンは、ブライトリングを公式ウォッチパートナーに迎えることを発表しました。共に、スピードへの魅了とディティールへの周密なこだわりを原点とする2つのブランドの魅力的なコラボレーションが実現

します。100年以上にわたり似たような歴史を歩んできたアストンマーティンとブライトリングの両社の繋がりを、改めて強化するために手を取り合います。

コラボレーションはデザイン、エンジニアリング、スピードの世界で展開され、2026年第3四半期に第一弾のタイムピースを発売する予定です。

アストンマーティンとブライトリングの同時代性は、自動車の黎明期にまでさかのぼります。1907年、レオン・ブライトリングは「ヴィテス(Vitesse)」を世に送り出しました。時速15から250マイル（またはキロメートル）の速度を測ることのできる最初のクロノグラフでした。その精度の高さは、スイス警察初のスピード違反取り締まりにも採用されたほどです。それから数年後の英国では、ライオネル・マーティンとロバート・バムフォードが、陰しく埃っぽいアストン・ヒルを登るレースに手製のスポーツカーで挑みました。彼らは優勝し、その名が今日まで続くことになります。

アストンマーティンの最高経営責任者（CEO）エイドリアン・ホールマークは次のように述べています。「アストンマーティンとブライトリングは、デザインと文化における過去の重要な時期にたびたび遭遇してきました。アストンマーティンの名を冠するすべてのものに不可欠な卓越性、優れたデザイン、パフォーマンスの要素を、このパートナーシップにおいて完全に表現できると考えます」

1960年代までには、どちらのブランドもスタイルと最新のエンジニアリングのシンボルとなっていました。ブライトリング創業者の孫であるウィリー・ブライトリングは、戦後の腕時計づくりのものものしさを払いのけるかのように、スピードとスタイルを求める新しい世代に向けて「トップタイム」と名付けたクロノグラフを登場させました。映画『サンダーボール作戦』（1965年）でジェームズ・ボンド・シリーズ初のQによる改造ガジェットとしてショーン・コネリーが手首にまとうと、それは時代を象徴する存在となりました。アストンマーティンのDB5も、『ゴールドフィンガー』（1964年）でデビューを果たし、『サンダーボール作戦』でも再登場して、四輪で同じ現象を巻き起こしました。同じ映画作品に登場した両者は、スピードが高性能戦術と交差するジェームズ・ボンドの世界で人々を魅了しました。

ブライトリングのCEO、ジョルジュ・カーンは次のようにコメントしています。「アストンマーティンの自動車は、パフォーマンスと同様に存在感にもこだわっています。私たちにはアイコニックなデザインという共通の伝統があります。線、仕上げ、プロポーションといったデザインの全ての要素に目的を持っています。偶然に任せたものは一つたりとも存在しません」

そうして共に伝統を分かち合い進化を続ける中で、ブライトリング、アストンマーティン、アストンマーティン・アラムコ・フォーミュラ1™チームの長期にわたるパートナーシップにおいて、ファンの皆様は特別なモデルの登場を待ち望むことができます。第一弾として、レース

の世界へのブライトリングの復帰を記念するNavitimer B01 Chronograph 43 Aston Martin Formula One™ Teamが展開されます。

こちらのプレスリリースに関する素材は、下記よりダウンロード可能です。

<https://we.tl/t-76JGUWa4WS>

<https://www.youtube.com/shorts/b5uwGCofhLI>

ブライトリングについて

1884年創業のブライトリングは、スイスを代表する高級腕時計メーカーです。革新的な気風を誇る同社は近代のクロノグラフを発明し、ナビゲーションツールウォッチを開拓しました。現在でもカジュアルでインクルーシブ、サステナブルなラグジュアリー・ブランドとして新分野を切り拓きつづけ、ロフトを思わせるインダストリアルスタイルの店舗を世界各地に280店以上展開しています。ブライトリングのコレクションは、陸・海・空への挑戦を、すべて同ブランドの特徴的なモダンレトロスタイルで表現したものとなっています。そのムーブメントの卓越した品質は、COSC認定クロノメーターであることでも証明され、ブライトリングは今も自社製キャリバーを製造する数少ない独立系腕時計メーカーの一つとなっています。現在、ブライトリングはさらなる高みに向けて、より良い素材、より良い製造、より良いパッケージング、エンドツーエンドのトレーサビリティの美しい製品と体験を生み出すことを目指しています。古典的な腕時計づくりを最新かつ最高にサステナブルなイノベーションと融合させるブライトリングは、歴史と先進性を併せ持つ企業です。[www.breitling.com](http://www breitling.com)

アストンマーティン・ラゴンダについて

アストンマーティンは、世界でもっとも熱望されるウルトラ・ラグジュアリー・ブリティッシュ・ブランドとなることを目指し、人々を魅了してやまないハイパフォーマンス・カーを作っています。

ライオネル・マーティンとロバート・バンフォードによって1913年に設立されたアストンマーティンは、スタイル、ラグジュアリー、パフォーマンス、エクスクルーシブネスを象徴するグローバル・ブランドとして知られています。アストンマーティンは、最先端のテクノロジー、卓越したクラフトマンシップ、美しいスタイルを融合させ、Vantage、DB12、Vanquish、DBX707に加え、同社初のハイパーカーであるValkyrieなど、高い評価を得ている一連のラグジュアリー・モデルを生み出しています。また、Racing. Green. サステナビリティ戦略に沿って、アストンマーティンは2025年から2030年にかけて、PHEVとBEVを含むブレンドドライブトレインアプローチによる内燃エンジンの代替システムの開発にも取り組んでおり、電気自動車のスポーツカーとSUVのラインナップを持つという明確なプランを描いています。

英国のゲイドンを拠点とするアストンマーティン・ラゴンダは、ラグジュアリー・カーを設計、製造、輸出し、世界で50以上もの国で販売しています。スポーツカー・ラインナップはゲイドンで製造されており、ラグジュアリーSUVのDBXは、ウェールズのセント・アサンで製造されています。同社は、2030年までに製造施設をネットゼロにする目標を掲げています。

ラゴンダは1899年に設立され、1947年にアストンマーティンとともに故デビッド・ブラウン卿に買収され、現在は「Aston Martin Lagonda Global Holdings plc」としてロンドン証券取引所に上場しています。

2020年には、ローレンス・ストロールが同社のエグゼクティブ・チェアマンに就任し、未来の重要な分野に対して新たな投資を行うと同時に、アストンマーティン・アラムコ・フォーミュラ1®チームとともにモータースポーツの頂点へと復帰し、英国を象徴するブランドとして新たな時代へと乗り出しています。



<https://media astonmartin.com/>

メディア問い合わせ先：

株式会社ブレインズ・カンパニー

加藤 七瀬：070-7611-6970 中井 美里：070-2238-5865

astonmartin-pr@pjbc.co.jp